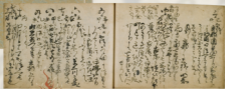


# 戦国武将の日記を読む

「松平家忠日記」に見る信長・秀吉・家康



家忠日記一



信長  
秀吉  
家康

松平家忠肖像 本光寺(愛知)所蔵

平成21年11月1日(日)～12月18日(金)

●講演会 禅博セミナー

「戦国武将の日記を読む～深溝松平氏と『家忠日記』～」

講師：久保田昌希先生(本学文学部教授)

11月20日(金) 16:30～18:00 定員50名

●実践セミナー

「成道会と羅八摂心(坐禅)」

講師：角田泰隆先生(本学仏教学部教授)

12月4日(金) 16:30～18:00 定員30名

※参加費無料、申込先着順、電話・FAX

または博物館受付でお申し込みください。

●後援 世田谷区教育委員会／駒沢史学会

●開館時間

10:00～16:30

●休館日 土・日・祝日

※11/1(日), 3(火祝),

7(土), 8(日), 21(土)

23(月祝)は開館します。

●入館無料

駒澤大学禅文化歴史博物館

The Museum of Zen Culture and History,駒澤大学

〒154-8525

東京都世田谷区

駒沢 1-23-1

TEL:033419-9610

FAX:033419-9611



<http://www.komazawa-u.ac.jp/zenbunko/>

# 戦国武将の日記を読む

「松平家忠日記」に見る信長・秀吉・家康

今回の企画展は、『家忠日記』を全面的に公開するとともに、戦国武将と神の文化の関係について迫ります。

戦国武将の自筆日記を所蔵する大学は、全国的にもたいへん希少です。信長・秀吉・家康とともに時代を駆け抜けた家忠の日記から、戦国武将の活き活きとした様子を是非ご覧下さい。

## 家忠と神宗・神文化



秋月孫兵衛尉宛て千利休書状 天正15(1587)年頃 当館蔵  
秀吉に重用され非業の最期を遂げた茶人千利休の書状。九州の武将・秋月氏が秀吉に降伏し、孫兵衛尉を秀吉のもとに遣わせた頃の書状。



本光寺宛て永平寺門懸書状  
慶長6(1601)年 当館蔵

松平家忠の菩提寺本光寺に向けて書かれた  
宗大和尚永平寺からの書状。慶長7(1602)  
年の道元390回忌に関する内容。

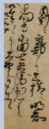


米日天目茶碗 当館蔵

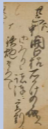


『家忠日記』 全七巻 本学図書館蔵

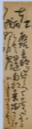
## 時代を物語る「日記」の記述



天正 10(1582)年6月3日 本  
本龍寺の宣



天正 18(1590)年6月26日 小田原攻め



天正 20(1592)年4月7日 米  
文祿の役

松平家忠(一五五五〜一六〇〇)は、徳川家康の一族で、愛知県幸田町と長崎県島原市の曹洞宗本光寺を菩提寺とする漢溝(ふこうず)松平家の四代目です。

駒澤大学図書館所蔵の家忠の自筆日記(『家忠日記』)は、戦国武将の合戦の様子や日常生活について記され、また筆者家忠が、連歌・茶・能など、神と関わり深い芸術文化をたしなんでいたことがうかがえる、たいへん重要な資料です。

家忠(信長) 慶應 京都ヲつくしへ去十七日二脚出馬  
一(秀吉) 一(徳川家康) 一(伊達) 一(上杉) 一(豊臣) 一(徳川家康)  
一(伊達) 一(南無) 一(豊臣) 一(徳川家康) 一(伊達) 一(上杉) 一(豊臣) 一(徳川家康)

御手につき候由候、

関白様名かけの御帳へ

御うつり候、諸陣ニ宣刻ニ

鉄炮そろへ候、

西刻ニ、京都にて上様ニ明知

日向守、小田七兵衛別心にて

御生かい候、